

岡山市連合婦人会会報

花と緑の
あふれる
まちづくり

令和3年12月5日
編集兼発行人
岡山市連合婦人会
塩見 横子
岡山市北区大供一丁目一
生涯学習課内
電話八〇三二一六〇六

第45回婦人文化祭

2年ぶりの大舞台 7グループが発表

令和三年十月二十九日（金）岡山市立市民文化ホールにおいて、二年ぶりに婦人文化祭が開催されました。まず初めに塩見会長が「規模を縮小してでもぜひ実施したいと思



三門学区の民謡



御津南学区のフラダンス



市連合婦人会の民謡



岡南学区の民謡



御津学区のフラダンス



三門学区の民謡



平福学区の民謡

くなくなってきた。今日は絆を強めてほしい」とお祝いの言葉を述べられました。コロナ禍の中、例年より参加チームを制限し、精一杯頑張っ

台を盛り上げていました。文化活動を継続することは大事なことです。地域の若い人たちに文化を伝えていければと思います。

食品ロスの削減は一人の努力では困難で、みんなで取り組んでいく必要がある。食品ロスの削減の推進に関する関係省庁会議には、事務局として消費者庁、そして子どもたちも含めて考えることから文部科学省、衛生面から厚生労働省、環境省、経済産業省、農林水産省が参加して相互に緊密な連携・協力をして推進している。

食品ロスの削減学ぶ

中国四国農政局 菅井剛氏が講演



講師の菅井剛氏

令和三年十一月九日（火）岡山市役所七階大ホールにて、全責評議員会講演会が開催され、中国四国農政局・食品企業課の菅井剛氏が「食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢」と題して講演をいただきました。以下、講演内容です。

消費者が今出来ること

「30・10さんま」といわれる運動というのがある。これは宴会の始まり三十分はお食事を楽しみましょう。食品ロスの削減につながる。

商慣習の見直しが必要

食品ロスには、外食の食べ残しといった事業系と、家庭での賞味期限切れの食品を捨てるといった家庭系があり、平成三十年度の資料によると、日本の国民一人当たり一日約百



熱心に聴講する婦人会員ら

「お開き十分前になったら自分の席に戻って再度お料理を楽しみましょう」というもので、これも食品ロス削減につながる。

新会長6名誕生

学区・地区婦人



学区・地区婦人会の新会長の皆さん（写真左から、足守・安富会長、出石・藤山会長、鹿田・林会長、西・北川会長、灘崎・三村会長、三門・田淵会長）

三門学区・田淵和美

三門学区婦人会長を務めさせていただきました。三門学区の力

「ボランティアの力で地域を元気に」の言葉を心に留め、微力ですが、婦人会活動をより一層充実させるべく頑張りたいと思っております。どうぞ皆様方のお力添えをよろしくお願いたします。

西学区・北川貞子

生まれ育った愛する我が町、西学区は高齢化が進む中ですが、婦人会を解散する訳には参りません。若い世代の方に受け継いでいただきたく願っています。それまで学区の皆さんに支えていただきながら頑張りたいと思

灘崎学区・三村久子

灘崎学区片岡婦人会長として活動のまとめ役会長に就かせて頂きました。

鹿田学区・林祥子

今年度の活動テーマになりました。経験年数は少ないですが、今までいろいろなお話を教えてくださった諸先輩

出石地区・藤山昌子

この度は岡山市の中心部であり出石地区会長を受ける事となりました。皆様には多々ご迷惑をおかけするとは思いますが、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

足守学区・安富美智子

この度、大先輩の坪和前会長から、是非に推薦され学区会長を務めさせていただきます。岡山市連合婦人会の評議員となり右も左も分からない中で出席しております。

輩方のお知恵をお借りしながら、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張ってお活動していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

あいさつ運動 標語を大募集

子ども達の登下校時にあいさつ運動に取り組んでいる学区・地区のみならず、子ども達とのふれあいが明るい地域づくりにつながるよう、優等作品は令

日常生活を見直し、

ビオトープで自然体験 命の大切さ学ぶ機会に



ビオトープの竹垣を改修

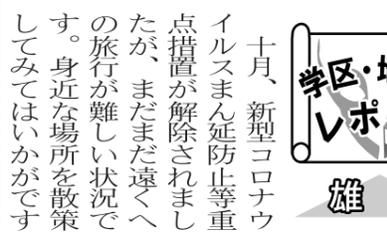
学区・地区の レポート 岡南

岡南学区は岡山市の中心部にあり、交通量も多く、また、近くに旭川や西川(枝川)が流れているので遊ぶに

は危険なため、子どもたちに安心して親しめる自然を身近に感じて貰いたいとの思いから、平成十六年に岡南小学校にビオトープが造られました。

また、自然体験学習として専門家の方から水質や生態系を学び調査観察をすることで、自然環境に対する

は危険なため、子どもたちに安心して親しめる自然を身近に感じて貰いたいとの思いから、平成十六年に岡南小学校にビオトープが造られました。



自然体験学習の様子

を通じて草刈り・剪定等を計画的に管理し美しく維持されています。昨年は八年ぶりに古くなった竹垣をボランティアの手で新しく取り替えました。

子どもたちにとって、自然の仕組みを体験し命の大切さを学ぶだけでなく、他者への思いやりの心を学ぶことができます。毎年ボランティアの方に教わり田植え・稲刈り、

幼い頃のビオトープでの体験が懐かしい思い出になることを願って、今後も婦人会として協力をしながら環境学習の支援をしてまいります。

野生の生き物が暮らす場所を意味する。自然体験学習として、子どもたちが自然に触れられる貴重な場になっている。

雄神学区は、岡山市の東部を流れる吉井川に接していて、世帯数千二百戸の小さな学区です。学区の南は西大寺に接していて、この辺りは、明治末期まで吉井川の水上輸送で栄えました。また、学区

を東西に走る赤穂線に、北には、点在する丘陵のまわりに水田が広がっています。雄神には吉井川の最も下流にある鴨越し堰があり、農業用水はもちろん工業用水の水路が何本も流れているところから「水路の心臓部」と言われています。また、明治の中ごろか

に、梨を中心とした果樹栽培が盛んに行われ、今でも、ヤブ梨(鴨梨)や、あたご梨(戸時代の大地主が私財を投じて建立した)等

がある修省社(明治十六年に造られた、青少年が交流や研修を行う場所)や金毘羅宮(江戸時代の大財主が私財を投じて建立した)等

野外でのラジオ体操 子ども達とふれあう

学区・地区の レポート 大野



ラジオ体操が終わる子ども達

大野学区婦人会は、八十歳以上の方への記念品配布とチームで行われる敬老会参加のお手伝いを第一に考え、人数で活動しています。

ところが、新型コロナウイルス感染拡大により昨年に続き今年も敬老会は開催出来ませんでした。もちろん、婦人会の豊かで潤いのある町づくり活動も躊躇しています。

そんな中「小学校の夏休みラジオ体操がな

早起きが得意でまだまだ元気な長寿会の方々にも賛同を頂き協力をしてもらいます。普段見えないおじいちゃんに「おはよう」と声をかけら

れ、目をこすりながら「おはようございます」とあいさつです。また、未就学児がママ手作りのハンコカードを首にかけ、恥ずかしそうに参加している姿は思わず顔がほころびます。

ゲームやインターネット、SNS等子ども達を取り巻く情報だけがあふれ、地域との関

わりが少なくなっている現代に夏休みの数日、朝日を浴び、地域

の大人とふれあい潤う

ラジオ体操なのです。(大野学区会長・中田典枝)

五億内程度の被害がありました。(足守学区副会長・田淵康江)

学区・地区の レポート 足守



熱心に聴講する婦人会員

駐在所警察官が講話 交通安全・防犯学ぶ

九月下旬、コロナ感染の減少に伴い、感染対策に配慮しながら、今年度初めての役員会と婦人学級「安全・安心な生活について」を開催しました。

まず、地元の生活を見直そうということ、足守駐在所の山田洋平巡査長をお招きし、交通安全・防犯などを中心に、講話をしていただきました。

岡山県人は「ウイソカーを出さない」「信号機のない横断歩道に人がいるとき、車は止まらないことが多い」

「車のバックは、十分注意すること」「自転車の保険加入(岡山市条例)などのお話を

していただき、普段の生活を見直す機会になりました。また、学区内の事件発生状況の報告、道路標識などの場所にあるか、何の標識かをクイズ形式で問いかけてくださり、関心をもち、聞くことができました。

特殊詐欺については、昨年、岡山市内では、

「車のバックは、十分注意すること」「自転車の保険加入(岡山市条例)などのお話を

毎週金曜に「もも太郎体操」

福田公民館では毎週金曜日12時~12時35分に、1階ロビーで「あっ晴れ!もも太郎体操」を行っています=写真。岡山市の健康施策「健康市民おかやま21」の地域推進団体「すこやか福田」が運営を担い、地域のみんなとともに楽しく、継続的な運動習慣を持つ場となっています。「あっ晴れ!もも太郎体操」は、岡山市ふれあい介護予防センターが考案した誰でも安全にできる体操です。コロナ禍で活動ができない時期もありましたが、マスクをつけたままでも行える「お口の体操」を工夫するなどして実施しています。申込不要、参加費無料ですので、どなたでもお気軽にご参加ください。

問い合わせ先:岡山市立福田公民館 TEL086-282-3773 岡山市南区古新田1186



熱心に聴講する婦人会員

【牡蠣(カキ)】 様々な栄養素を豊富に含むことから、「海のミルク」とも呼ばれるカキ。我々が普段食しているのは「真牡蠣(マガキ)」で、冬に旬を迎えます。「Rのつかない月」はカキを食べる「な」などと言われています



が、これは、春から夏にかけてがカキの産卵期であるため、味が悪くなるうえに、食中毒を起す恐れがあります。生食用と「加熱用」は鮮度の違いではありません。生食の際はご注意ください。

言われています。カキに含まれる鉄分や亜鉛は、ビタミンCやクエン酸と一緒に摂ると体への吸収率が高まるそうなので、カキ料理にはたっぷりレモン汁をかけてお召し上がりください。

■竜之口学区

- ① 9月26日(日)
- ② 80歳以上 529人
- ③ 学区敬老会を縮小して、敬老祝賀と記念品贈呈式を竜之口コミュニティハウス全館を使って開催いたしました。高齢者代表をお招きしてビデオ撮影・中継で参加気分を共有してもらいました。贈呈式終了の後、80歳以上の方に市からの記念品と学区の該当の方にも記念品を、婦人会役員の手でご家庭にお届けいたしました。(平松知子)



学区・地区敬老会2021

例年高齢者の長寿を祝して行われていた敬老会ですが、コロナ禍の為昨年引き続き合同敬老会をはじめ、ほとんどの学区・地区で中止に追い込まれました。そのような中でも喜んでいただきたいと工夫し実施しました。4学区・地区の様子を紹介します。

■学区・地区名 ①開催日(実施日) ②対象者 ③実施内容等

■足守学区・大井地区・日近地区・岩田地区・福谷地区

- ③ 私たち足守中学校区は毎年、10月に5地区の婦人会や地域の方々と敬老会を開催しますが、昨年に続き新型コロナ感染予防のため中止となり、岡山市のお祝いの御菓子と記念品を各学区・地区の婦人会が中心になってお配りしました。地区敬老会中止のお手紙と共に9月の敬老の日にお配り出来るようにと婦人会間の相談の上、手配致しました。しかし、非常事態宣言の最中でもあり、急速10月の感染状況が落ちついた頃と日程変更をして、感染予防のマスク、手袋や消毒も心がけ、皆様にお配りしました。敬老の方々の「暗くなっていた気持ちが明るくなった。でも一つまた、年をとってしまった」というお声を聞きながら、来年こそは敬老会の開催ができ、皆で笑い合う時が持てたらと婦人会一同、強く思いました。(井上節子)



■御野学区

- ① 11月1日(月)~配布
- ② 80歳以上 1252人
- ③ コロナ禍で、学区独自の敬老会の開催は断念し、岡山市からのお祝いの品に加えて、地域からのお祝いとして「モシモノナエル避難所6点セット」をお届けいたしました。どちらも北公民館に同時に届けていただき、例年よりも驚くほど多くの荷物が届きました。婦人会員や地域の方々の力強いご協力です。スムーズにそれぞれの町内までお届けすることが出来ました。皆様に喜んで頂ければ幸いです。(石原富滋子)

■弘西地区

- ① 10月29日(金)
- ② 80歳以上 465人
- ③ 昨年同様、地区敬老会は中止にし、皆で厳選した記念品を準備しました。昨年はコロナ収束を願いアマビエの飴と味噌汁等の詰合せでした。今年はお長寿の祝い品であるバームクーヘンです。一軒一軒手渡してお届けし、変わらない笑顔に会えました。(福見明美)



婦人会員38人 南区で緑のハイキング

秋風と景色堪能

令和三年十月一日(金) コロナ禍の中、

どうなるかと心配して、おりましたが、まん延防止等重点措置も解除された秋空の下、岡山市南区、浦安総合公園西地区に三十八名の会員が早朝より緑のハイキングに参加しました。



ハイキング後に希望者が寄せ植え



緑のハイキング参加者

編集後記

コロナ収束後へ 徐々に活動再開

収束の見通せないコロナ禍中で、岡山市連合婦人会も、令和三年度六名の新学区・地区会長を迎えています。健康が守られ、安心して暮らせる地域づくりのために、自粛の続いた婦人会活動も少しずつ動き出しました。会報の発行も、皆様のお力添えで今号もお届け出来ることを嬉しく思っています。ワクチンの三回目接種も近いことでしょう。ウィズコロナ時代の新しい生活様式を取り入れながら来年度年々皆様の多幸を祈ってやみません。

秋空の下、ハイキングする参加者



開会式では塩見会長のお挨拶に続き、岡山市庭園都市推進課の森谷公園緑地担当課長にもご挨拶を頂き、公園協会の井野さんより当公園とハイキングコースの説明の後、恒例の両備ヘルシーケアの池田講師と大崎講師により安全な歩き方をレクチャーしていただきました。

開会式後は、恒例の両備ヘルシーケアの池田講師と大崎講師により安全な歩き方をレクチャーしていただきました。希望者十六名は昼食後、寄せ植えを行いました。間隔を取った場所で、丁寧な説明を受けながら、素晴らしい景色と秋風を堪能しました。再び湿性花園から公園内を散策して、十一時過ぎには皆さん完歩し、完歩証とジュースを頂き、閉会式後解散しました。

■材料(4人分)

- 鶏ささみ.....300g
- さとう.....小さじ1
- こしょう.....少々
- 小麦粉.....小さじ4
- オリーブ油.....小さじ2
- ブロッコリー.....80g
- さつまいも.....80g
- 豆乳(無調整).....カップ1/2
- 白ワイン.....カップ1/4
- バター.....20g
- 塩.....小さじ1/2
- レモン.....1コ
- みじん切りパセリ.....少々
- かたくり粉.....小さじ1

■作り方

- ①レモンは輪切りを4枚とった後、残りは、皮をせん切りにし、果汁を小さじ1とる。ブロッコリーは小房、さつまいもは輪切りにしてそれぞれゆでる。
- ②一口大のそぎ切りにした鶏ささみ、さとう、水(大さじ1)をポリ袋に入れ、もみ込み10分ほど漬けておく。
- ③②にこしょうをし、小麦粉を薄くまぶす。フライパンにオリーブ油を熱し、鶏ささみの両面を焼き、皿に取り出した後、さつまいもを焼く。

親子で作るふるさとの味

食育レシピ 155



<鶏のソテー豆乳レモンクリームソース>

- ④鍋に白ワインを煮立たせ、バター、塩を加える。バターが溶けたら火を弱め、豆乳を少しずつ加えながら混ぜ、沸々としてきたら、レモン汁を加えて、水溶きかたくり粉(かたくり粉+小さじ2の水)で調整しながらトロリとしたソースに仕上げる。※豆乳は少しずつ加え煮立たせない。
- ⑤皿に④のソースを敷き、鶏ささみを盛りつけ、パセリとレモンの皮(お好みの量)をのせる。ブロッコリー、さつまいもとレモンの輪切りは鶏肉の横に添える。

(令和3年度岡山市栄養教室講座「低栄養予防食」実施献立から)